

## 平成22年度 第2回学校関係者評価報告書

鳥取県立鳥取工業高等学校  
校長 山内 有明

| 評 価 日   | 平成23年2月16日 (水)   |  |
|---|--|--|
| 評 価 ・ 提 言   | 学校の所見・改善策等   |  |
| <p><b>1. 今年度の自己評価について</b></p> <p>(1) 重点目標の達成状況</p> <p>○授業評価アンケートについて、反省点や具体的改善点が見られる。アンケート結果を受け、教員がかなり努力されていると感じた。教員の授業改善への決意と覚悟が見られ、以前より意識も前進している。授業評価の高い教員もあり、他の教員から学ぶという努力を全職員から感じさせる雰囲気をもたせている。</p> <p>○基礎・基本について、中学校段階からの不消化を抱えたまま高校へ入学しているのではないか。入学前の春休みの段階でつまづきを完全に理解する手だてではないか。高校の生徒やOBなどを活用する呼びかけをされてはどうか。</p> <p>○教育目標の「キャリア教育の充実と生徒の進路実現」について、専門的な知識を身に付けることができることが鳥工の魅力であるはずだが、(評価表の)評価は低いように感じた。もっと高くてもよいのではないか。「地域や産業界とのパートナーシップの確立」については先生の熱意で高くなる。</p> <p>(2) 説明・公表について</p> <p>○ホームページが改善され、鳥工の活動が積極的に情報発信されるようになってきている。ただ、部活動について、中には昨年度のものであったりする。できるだけ早く更新すべきだ。鳥工は地域懇談会などを開催し、要望をすくい上げることをしているが、もっと広いエリアから意見を集約してはどうか。</p> <p>○保護者アンケートでは、学校からの連絡や情報提供についてのパーセンテージが下がっている。生徒が文書を保護者に渡さないのだろうが、届かなければ文書を郵送する。PTAと相談し増額を考える。また、ホームページで、パスワードを保護者に教えて閲覧する、メール配信するなどの工夫をするのはどうか。</p> <p>○中学校では生徒が授業に集中するよう、授業前の黙想、授業内容の表示など、さまざまな取組を行っている。鳥工でも取り入れられたらどうか。</p> | <p>○授業評価アンケートは引き続き授業改善に活かすとともに、公開授業推進、研究授業の取組をさらに充実、発展させ、授業改善に取り組んでいきたい。</p> <p>○基礎学力テスト(数学)を実施し、生徒一人一人の理解度を把握、分析する中で、基礎学力の定着指導に活かしていきたい。</p> <p>○就職率100%達成。ものづくり講演会、鳥工産業教育懇話会等の取組を通じ、職業観、勤労観の育成、専門教育の改善に重要な指針となった。今後も取組を継続し、充実、発展させていきたい。</p> <p>○ホームページの更新を促進するとともに、さらに充実したものとなるようにしていきたい。意見聴取は検討してみたい。</p> <p>○重要な文書については個別に郵送した。メール配信等については今後検討し、保護者への連絡方法の改善に向け取り組んでいきたい。</p> <p>○出前授業が黙想から始まったとの報告を聞いている。よいことは検討してみたい。</p> |  |

## 2. 学校運営等への提言

- |  |   |
|--|---|
| <p>○鳥工で今年度から朝読書に取り組んだのは良いことだ。中学校で効果があったことは高校でも取り組んで欲しい。</p>  | <p>○朝読書を継続、定着を図り、さらに充実させていきたい。</p>  |
| <p>○研修、学校訪問等の成果が個人レベルでとどまり、学校の財産となるように、研究成果発表会をもったり、データベースで共有するように工夫してはどうか。</p>  | <p>○職員会議、データベース等を利用して成果の還元を図り、共有できるように工夫していきたい。</p>                                     |
| <p>○ものづくり講演会、デュアルシステムなどを実施しておられるが、これらを継続して行うことが大切である。生徒に気づかせる仕掛けを作ることが大切だ。好奇心や関心といった内発的なものをもたせる。点数化できなくても、現在より違った自分になりたいという子どもを育てて欲しい。伸びる可能性のある生徒たちという意識で取り組んでほしい。</p> | <p>○ものづくり講演会、インターンシップ等を通じて、ものづくりの魅力、技術の継承の大切さ等について興味、関心を深め、意欲的で忍耐力のある生徒の育成に努めていきたい。</p> |
| <p>○生徒が実体験をすることが重要である。生徒には実践を身につけて欲しい。難しい壁を乗り越える粘り強い力を持った生徒を育てて欲しい。</p>  | <p>○本校教育の特色を活かしながら実践を積み重ねていきたい。</p>   |
| <p>○卒業して社会の一員となることを考えると、生徒が教員に対して正しい敬語が使えることが大事だ。今の生徒の中には、自分の親にも、先生に対しても友だち感覚で会話をしているものがある。</p>  | <p>○教員、生徒の正しい人間関係の中で、生徒が自然と敬語が使えるようにしていきたい。</p>   |